

【小施策評価(平成30年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	1	人がいきいきと暮らすまちづくり	小施策 主管課等	建築住宅課	
施策	6	生活困窮者への支援	評価 責任者	高橋 慎一	内線 3820
小施策	6-2	安定した生活の確保	評価 シート 作成者	滝沢 幸雄	内線 3821

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
著しく所得の低い世帯など、居住の安定確保が必要な世帯に市営住宅を提供するとともに、適正な管理や建て替えなどを行い、居住環境の向上を図る必要がある。	市営住宅の入居者が健康的で文化的な生活を維持できるように、市営住宅の建て替えやリフォームなど適正な維持管理を行う。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
低額所得者	居住場所が確保されることで、社会的・経済的に自立する。

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成30年度実績)

実績値の推移			
指標① 市営住宅における入居率	単 位	目指す方向	
	%	↗	
当初値 (H25)	85.1	R1目標値	89.6
		R6目標値	93.0

年度	入居率 (%)
当初値 (H25)	85.1
H27	86.6
H28	85.8
H29	86.2
H30	85.6
R1	89.6 (目標)
R2	
R3	
R4	
R5	
R6	93.0 (目標)

実績の評価	
成果点	成果の要因分析
<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した市営住宅が建て替えや改修工事の実施により、良質な住宅に改善された。 	<ul style="list-style-type: none"> 既存市営住宅の建て替え事業により、市営住宅1棟を新築し、新たに32の住戸を供用開始した。 市営住宅長寿命化計画に基づき、既存市営住宅の計画的な改修工事を行った。
問題点	問題の要因分析
<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅の入居率が上昇しておらず、ほぼ横ばいとなっている。 計画的な建て替えや修繕等を実施するための予算の確保(国庫補助金を含む)が出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 既存市営住宅の建て替え事業の実施に伴い、解体撤去を予定する建物への入居募集を行っていないこと及び維持管理状態が不良であるため、入居募集ができない住戸があることによる。 国庫補助等の予算配分の状況及び復興需要による工事費の高騰等による。

今後の方向性(令和元年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R1年度着手済または着手予定 ☆…R2年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> ★ 建て替えや修繕等に係る事業費の縮減を図る。 ★ R1年6月に新築住宅1棟32戸を供用開始した。 ★ 住戸の維持保全状態が不良であることを理由に入居募集を行っていない住戸について、現状を再調査し修繕計画を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆1 R1年度に新築工事に着手する市営住宅1棟32戸について、R2年度内に供用を開始する。 ☆2 維持保全状態が不良な住戸の修繕工事を行い、入居募集が可能な状態に改善する。